

# 農作物や園芸施設等の雪害防止対策について

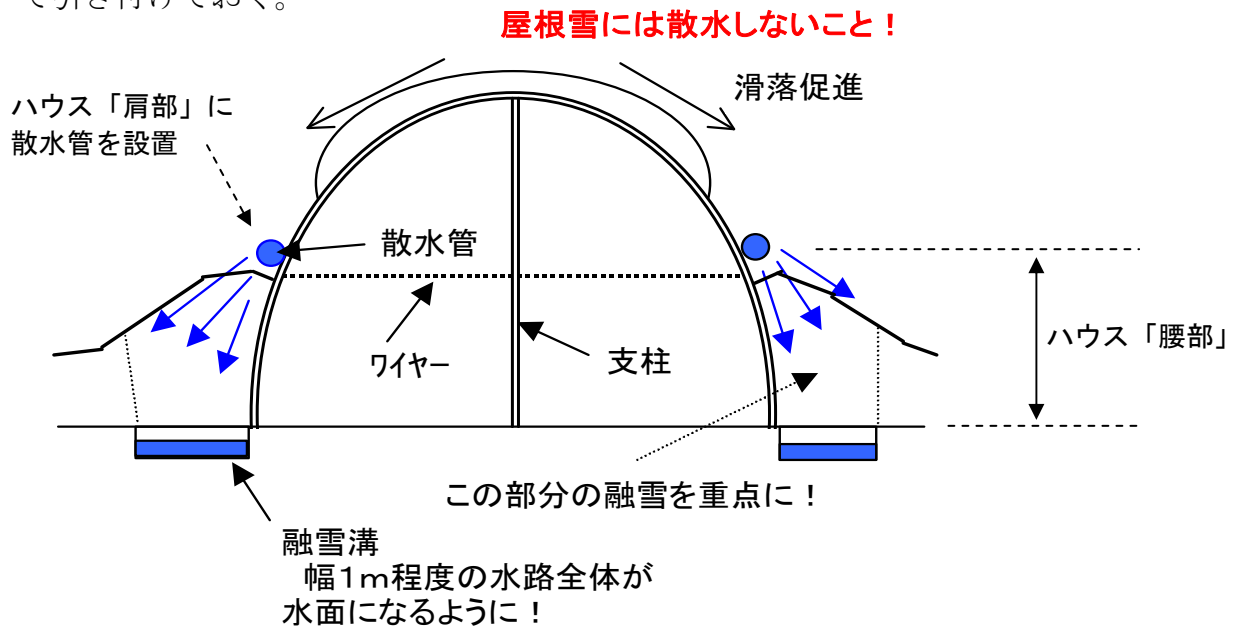
平成24年1月25日  
福井県農業総合指導推進会議

**注意** ハウスの積雪状況を見て、倒壊のおそれがある場合はハウス内に入らないこと。

## 1 各作目共通事項

### (1) ハウスの補強

- ・降雪が予想される時は3～4m程度の間隔で支柱を立ててハウスを補強する。
- ・このとき雪の重みで支柱が土中にめり込まないように支柱の下にブロックなどを敷く。
- ・ジャッキ等を用いて、支柱をハウスに固定しておくとう雪の重み等で沈んだ場合の調整が可能となる（下写真）。
- ・積雪荷重により肩部が広がると倒壊しやすくなるので、支柱と同間隔でワイヤー等で引き付けておく。



## ハウスの雪害対策



T字金具



ジャッキ付きの台

## (2) 融雪・除雪

- ・ハウスの融雪はハウス側壁部に堆積した雪に散水して行う（屋根雪には散水しないこと）。散水ノズル、融雪溝の点検整備を行う。
- ・除雪機を用いる場合は、ハウス周囲を整理して通路を確保しておく。なお、効率的な除雪のためには、いずれも積雪が多くなる前から早め早めの対応が重要である。
- ・屋根まで積雪してから除雪を行なう場合は、ハウス両側を均等に除雪し、片荷重によるハウスの倒壊を防ぐ。

## (3) 屋根雪の滑落促進

- ・ガラス温室では、屋根雪の滑落を促進するため、内張りカーテンを開放して4～5℃に室内を加温する。
- ・ビニルハウス等では、積雪による被覆資材（ビニル）が弛み、直管パイプに引っかかって屋根雪の滑落を阻害するので、積雪が多くならないうちに人力で除雪しておく。特に、天窓は積雪しやすいので注意する。
- ・緊急時には、ビニルを切ってハウスの倒壊を防止する。ビニルを切るためにハウスに入る場合は、落下する雪の下敷きとにならないよう細心の注意を払って作業する。ビニルの切断作業は左右対称に行う。

## (4) 被覆資材を除去してあるパイプハウスの除雪

- ・被覆資材を除去してあるパイプハウスでは、パイプ交点等に積もった雪が屋根一面に積雪するので、時々人力で雪を落としておく。
- ・ハウス肩部や腰部のパイプ等が積雪に埋没したままにしておくと、沈降圧によって変形、破損等の原因になるので、早めに掘り出しておく。

## 2 果樹

### (1) 園内の見回り、雪の払い落とし等

降雪中や降雪後は園内を見回り、枝に付着した雪を払い落とし踏圧する。

雪に埋まった樹や枝は放っておくと雪の沈降で裂開するので、速やかに掘り出し、タル木などのつかい棒をあてて枝を持ち上げる。

ナシ棚などに冠雪した場合には早急に払いのける。

## 3 畜産

畜舎は換気が不十分になるので換気扇、窓の開閉をこまめに実施して、畜舎環境の悪化によって生産性が低下しないようにする。なお、豪雪が予想される場合は、予め畜舎等大型の建物の除雪計画を立てる。

### 「除雪作業中の労働災害の防止」

- ・倒壊のおそれがある場合はハウス内に入らないこと。
- ・大雪や吹雪等の悪天候時には、作業は行わないこと
- ・作業は一人で行わず、できるだけ複数で行うこと。
- ・除雪機への巻き込まれやはさまれ災害を防止するため、除雪機械の前方に他の労働者を立ち入られないこと
- ・保護帽を着用するとともに、滑り難い履物の着用を徹底すること。